

# 議会運営委員会行政視察報告書

小林 貴浩

## ○静岡県藤枝市

決算特別委員会での事業評価と各常任委員会での予算への提言について

### 【所見】

先ず、議会改革から始まり、予算・決算、提言の審査サイクルと3常任委員会による予算執行チェックという内容を委員長、副委員長、超党派の議員其々が詳しく説明し質疑に対応していただいた事に委員長として感銘を受けた。藤枝市では令和5年5月から議長を除く半数の11名が1年交代により、3常任委員会所管分を審査し、予算5日間、決算4日間最後に総括質疑を行う形で行っている。予算は不可分であり、委員会としての最終的審査は一つの委員会で分割審査すべきでない。を基本に決算審査を年間の総括として重視し同時に来年度予算に反映させるため継続事業1001事業について事業評価を行い6月に総点検シートが提出され決算審査は6月から正式にスタートする。

特に素晴らしい点は行政改革の一環として全職員による全事業の総点検(藤枝型新公共経営)により、いわゆる外部の委員による「事業仕分け」ではなく、全職員の手により全事業の総点検が行われ、この行革により、事業の無駄が削られていき、市民に役立つ事業に練り上げられていく点だ。そうした全事業の総点検シートが毎年作成され、全議員に配布される。

会派の意見も反映しつつ、6月中旬から議論され7月下旬には1001事業から各委員が問題意識をもってピックアップした76事業に抽出され、8月中旬に事業評価決算審査調書14事業を各所管から提出し9月中旬に開催される決算審査に臨む。

最終的に提言の取りまとめについては、抽出した14事業に対する各委員の評価と新年度に向けた予算に対する考え方を決算審査終了後に「事業評価・決算審査用調書」へ記載し事務局へ提出。そのあとまとめられて執行部へ提出となる。そして決算委員会から予算委員会へ送られ提言のほとんどが予算に反映されると聞いた。年間を通して決算委員会、予算委員会、執行部の取り組み全てが藤枝市新公共経営推進PDCAサイ

クルの戦略方針の下でチェック機能が発揮されている先進的で素晴らしい視察であった。

## ○愛知県一宮市

### 大型スクリーンについて

#### 【所見】

事前質問に答える形により詳細な説明がなされた。大型スクリーンの導入は新庁舎建設に合わせて導入されたもので、背景や経緯については不明で議場傍聴席から議場内の様子が見にくい配置となっているため、大型スクリーンにより本会議の様子を確認できるようになっているとお聞きした。実際視察で現地確認をさせていただいた中で傍聴席が高い位置になっていて本市と違い議場の様子を伺うのには遠すぎる感があった。

使用については議員のパソコンやタブレットを接続し投影するため、データについては特に規定はなく、使用する画像や写真等については著作権及び肖像権が許可されたものを使用するようお願いし、また、議場内でのインターネット接続については禁止し、一般質問前に、当日使用するパソコンやタブレットを持参のうえで議場に試写を行いその場でのチェックをしていると聞いた。

一般質問の無料配信については無料で利用できる YouTube へ変更し費用の増減もなく議会開催後 1 週間後から配信されている。現在は定例会の開催月及びその翌月の視聴回数が多くなってきている傾向になっており市民からも認知されてきた感はあるとの事。

人口規模や議員定数を考えると本市とは比較にはならないが、地元ケーブルテレビやコミュニティーFMでの無料配信など先駆的に取り組んでいる。本市としても経費をかけずに様々な手法を検討するための素晴らしい事例であり、今後公共施設の建て替えなどの参考になった視察であった。